

県条例第3条チェックリスト

申請者

申請書	正副2部添付(正本の頭に建築認定申請書、副本の頭に建築認定通知書)。	☐
委任状	受任者の資格を記載(申請書内で資格確認できない場合のみ。資格種別、番号)。	☐
	委任内容の範囲を記載(行政書士で一切の～は不可、図面訂正できません)。	☐
図面関係	設計者の表示(資格、番号、氏名)。	☐
付近見取図	1/2500の都市計画図に縮尺、方位、申請敷地形状を記載。	☐
配置図	縮尺、方位(見取図との整合)、敷地境界線、土地の高低を記載。	☐
	がけの影響範囲を記載(がけの高低差及び、がけの高さの2倍のライン)。	☐
	道路の種類(市道等)、法上の扱い(法第42条第2項道路等)、幅員を記載。	☐
	敷地内における建築物(既存含む)の位置(配置寸法)を記載。	☐
	申請にかかる建築物(“申請建物”)、よう壁、井戸及び合併処理浄化槽の位置を記載。	☐
	申請建物の各部分の高さ(平均地盤面から算出)を記載。	☐
	雨水・汚水等の排水経路、放流先を記載(隣地経由の場合、承諾について記載)。	☐
	敷地と周囲の土地との関係を明確に記載(敷地と道路、水路等との間の土地を明記し、寸法を記載)。	☐
	敷地分割されたものであれば、敷地分割後の既存部分の法適合性について記載。	☐
	敷地形状について、付近見取図との整合性。	☐
各階平面図	縮尺、方位、間取、各室の用途。	☐
	出窓があれば、床からの高さ及び水平方向の出の寸法を記載。	☐
立面図	縮尺、開口部の位置の記載。	☐
現況写真	敷地全景及び敷地とがけ等との関係がわかるもの。(敷地形状を赤線等で明示)	☐
敷地等断面図	縮尺、敷地境界線、敷地内における建築物の位置を記載。	☐
	敷地の地盤、土地の高低を記載。	☐
	がけの高さ、勾配、土質、よう壁の有無、建築物の安全性について記載。	☐
その他	確認等FAX連絡書を添付(受任者を記載)。	☐
	各斜線制限の検討について具体的に記載。(道路斜線制限は道路中心高で検討。)	☐
	市街化調整区域の場合、開発指導課と協議のうえ必要書類を添付。また、申請図書の内容と申請者、敷地面積、建築面積及び床面積等との整合性。	☐
	盛土規制法による許可書の写し、又は「手続きの要否の判定フロー」の添付。	☐
	土砂災害特別警戒区域外であることを確認。	☐
	棟の増築時、既存部分の法適合状況について記載。	☐
	工場又は作業場の用途に供する建築物の場合、工場調書を添付。	☐
	敷地・建築物の面積について、求積図を添付。	☐